

科目	マナー実践	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	山下聖子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	社会人として必要なマナーや社会常識、実務知識を秘書業務の学習を通じて習得する。 本授業は表現学科の学習成果(4)に該当する。		
到達目標	社会人として求められる基本的な仕事のしかた、態度・振る舞い・言葉遣いができる。 職場におけるマナーや考え方を理解して行動に移すことができる。		
学習成果の 評価基準	達成目標の達成度を測るため、授業内課題、達成度確認テストを実施評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	オリエンテーション(授業の流れと達成目標) 第1章 必要とされる資質(秘書の心構え)	教科書を読む(予習30分)社会人に必要な自覚と心構えを考える(復習30分)	
2.	第1章 必要とされる資質(秘書に必要な能力)	教科書を読む(予習30分)秘書に必要な能力をまとめる(復習30分)	
3.	第2章 職務知識	教科書を読む(予習30分)秘書の職務範囲をまとめる(復習30分)	
4.	第3章 一般知識	教科書を読む(予習30分)関連用語を覚える(復習30分)	
5.	第3章 一般知識	教科書を読む(予習30分)経済・時事用語を覚える(復習30分)	
6.	第4章 マナー・接遇(人間関係と話し方・聞き方)	教科書を読む(予習30分)上手な聞き方・話し方のポイントをまとめる(復習30分)	
7.	第4章 マナー・接遇(話し方と聞き方の応用)	教科書を読む(予習30分)報告・連絡のしかたを練習する(復習30分)	
8.	第4章 マナー・接遇(敬語と接遇用語)	教科書を読む(予習30分)敬語の使い方をまとめる(復習30分)	
9.	第4章 マナー・接遇(電話応対)	教科書を読む(予習30分)電話応対を練習する(復習30分)	
10.	第4章 マナー・接遇(来客応対)	教科書を読む(予習30分)案内のしかた、席次を覚える(復習30分)	
11.	第4章 マナー・接遇(社交業務)	教科書を読む(予習30分)慶事・弔事の対応をまとめる(復習30分)	
12.	第4章 マナー・接遇(社交業務)	教科書を読む(予習30分)慶弔に合った上書きを書く(復習30分)	
13.	第5章 技能(ビジネス文書)	教科書を読む(予習30分)ビジネス文書を書く(復習30分)	
14.	第5章 技能(ビジネス文書)	教科書を読む(予習30分)内容にあったグラフを作成する(復習30分)	
15.	達成度確認テスト	教科書を読む(予習30分)前期の達成度を確認する(復習30分)	
教科書	秘書検定2級クイックマスター 秘書検定実問題集2級		
参考書			
学習成果の 評価方法	達成度確認テスト(50%) 授業態度(30%) 授業内課題(20%)		
特記すべき 事項	担当者は一般企業にて社長秘書6年、マナー講師18年の実務経験を有しています。		
質問・相談等 の受付	質問・相談については、授業終了後に授業場所で受け付ける。		

科 目	マナー実践	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	山下聖子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	社会人として必要なマナーや社会常識、実務知識を秘書業務の学習を通じて習得する。マナー実践1で学んだ基礎知識を踏まえて、より実践的な状況対応能力を身につける。 本授業は表現学科の学習成果(4)に該当する。		
到達目標	社会人として求められる基本的な仕事のしかた、態度・振る舞い・言葉遣いができる。 職場におけるマナーや考え方を理解して行動に移すことができる。 秘書検定2級を取得する。		
学習成果の 評価基準	達成目標の達成度を測るため、授業内課題、達成度確認テストを実施評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	第5章 技能(会議における秘書の役割)	教科書を読む(予習30分)会議用語と形式を覚える(復習30分)	
2 .	第5章 技能(文書の取り扱い)	教科書を読む(予習30分)文書の発信・受信の注意点をまとめる(復習30分)	
3 .	第5章 技能(文書・資料管理)	教科書を読む(予習30分)ファイリング・整理用具を覚える(復習30分)	
4 .	第5章 技能(日程管理、環境整備)	教科書を読む(予習30分)スケジュール表を作成する(復習30分)	
5 .	第5章 まとめ	教科書を読む(予習30分)定着を図るため第5章の復習をする(復習30分)	
6 .	秘書検定対策	教科書を読む(予習30分)過去問題を解く(復習30分)	
7 .	秘書検定対策	教科書を読む(予習30分)過去問題を解く(復習30分)	
8 .	総合演習(出張コーディネートとお礼状)	教科書を読む(予習30分)お礼状を書く(復習30分)	
9 .	総合演習(交際業務)	教科書を読む(予習30分)定着を図るため慶弔の復習をする(復習30分)	
10 .	総合演習(訪問・来客対応)	教科書を読む(予習30分)案内・訪問のポイントを練習する(復習30分)	
11 .	総合演習(言葉遣い・電話対応)	教科書を読む(予習30分)かけ方・受け方の練習をする(復習30分)	
12 .	秘書検定対策	教科書を読む(予習30分)過去問題を解く(復習30分)	
13 .	秘書検定対策	教科書を読む(予習30分)過去問題を解く(復習30分)	
14 .	1年間のまとめ	教科書を読む(予習30分)1年間の総復習をする(復習30分)	
15 .	達成度確認テスト	教科書を読む(予習30分)1年間の達成度を確認する(復習30分)	
教科書	秘書検定2級クイックマスター 秘書検定実問題集2級		
参考書			
学習成果の 評価方法	達成度確認テスト(50%) 授業態度(30%) 授業内課題(20%)		
特記すべき 事項	担当者は一般企業にて社長秘書6年、マナー講師18年の実務経験を有しています。		
質問・相談等 の受付	質問・相談については、授業終了後に授業場所にて受け付ける。		

科 目	キャリア実践論	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	キャリア実践 の事前学習として位置づける。職種や業種について研究するとともに、自身の進路における方向性を考える。本授業は表現学科の学習成果（5）に該当する。		
到達目標	早期から自身のキャリアを考えることにより、進路目標の設定や方向性を明確にし、計画的な進路設計をたてることができる。		
学習成果の 評価基準	自身の目標進路における現状把握や情報収集により評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	キャリアとは キャリアについて、概念や価値観の説明	予習：キャリアとは（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2 .	自己分析 適性診断	予習：自己分析について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3 .	社会人基礎力の説明	予習：社会人基礎力について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4 .	職種研究	予習：職種研究について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5 .	業界研究	予習：業界研究について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6 .	訪問先選択 訪問先の選択と内容の検討	予習：訪問先の検討について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7 .	訪問先研究 訪問先企業について下調べをする	予習：訪問先研究について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8 .	事前研修 守秘義務やマナー、服装など	予習：事前研修について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9 .			
10 .			
11 .			
12 .			
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	適宜、資料を配布する		
参考書	適宜、資料を配布する		
学習成果の 評価方法	受講態度（40%）、授業内課題および提出物（60%）		
特記すべき 事項	キャリア実践 の履修予定者のみ受講可		
質問・相談 の 受 付	授業内、メール、対面、いずれも可		

科 目	キャリア実践論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	キャリア実践 の事前学習として位置づける。より具体的な進路活動へ向けて内容を深め、更なる自身の進路における方向性を考える。 本授業は表現学科の学習成果（5）に該当する。		
到達目標	自身のキャリアを考えることにより、進路目標の設定や方向性を明確にし、計画的な進路設計をたてることができる。		
学習成果の 評価基準	自身の目標進路における現状把握や情報収集により評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	就職とは 就職について、概念や流れの説明	予習：就職について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
2 .	自己分析 履歴書作成、リフレーミング	予習：自己分析について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
3 .	訪問先選択 訪問先の選択と内容の検討	予習：訪問先について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
4 .	訪問先研究 訪問先企業について下調べをする	予習：訪問先について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
5 .	説明会 合同説明会の体験	予習：合同説明会について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
6 .	職種研究 人事部長になって採用したい人物を考える	予習：職種研究について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
7 .	求人票 求人票のみかた	予習：求人票について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
8 .	事前研修 守秘義務やマナー、服装など	予習：企業へのマナー・服装について（30分） 復習：授業の振り返り（30分）	
9 .			
10 .			
11 .			
12 .			
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	適宜、資料を配布する		
参考書	適宜、資料を配布する		
学習成果の 評価方法	受講態度（40%）、授業内課題および提出物（60%）		
特記すべき 事項	キャリア実践論 ・ キャリア実践 履修生のみ受講可		
質問・相談等 の 受 付	授業内、メール、対面、いずれも可		

科目	キャリア実践	開講時期 履修方法	1年前期集中 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	事業所に出向き、3日間の就業体験を行う。 本授業は表現学科の学習成果（8）に該当する。		
到達目標	就業体験により、業務内容や適性を知って当事者意識を高める。また社会人の仕事に対する価値観などについて学ぶ。		
学習成果の 評価基準	就業体験での情報収集や経験値により評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
2.	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
3.	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
4.	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
5.	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
6.	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
7.	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
8.	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
9.	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
10.	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
11.	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
12.	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
13.	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
14.	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
15.	就業体験	予習：就業体験について（30分） 復習：就業体験の振り返り（30分）	
教科書	適宜、資料を配布する		
参考書	適宜、資料を配布する		
学習成果の 評価方法	就業体験先からの評価（50%）、課題および提出物（50%）		
特記すべき 事項	キャリア実践論 履修生のみ受講可		
質問・相談等 の受付	メール、対面、いずれも可		

科 目	キャリア実践	開講時期 履修方法	1年後期集中 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	事業所に出向き、5日間の就業体験を行う。 本授業は表現学科の学習成果(8)に該当する。。		
到達目標	就業体験により、業務内容や適性を知って進路への方向性を明確にする。また社会人の仕事に対する価値観などについて気づきを深める。		
学習成果の 評価基準	就業体験での情報収集や経験値により評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
2 .	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
3 .	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
4 .	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
5 .	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
6 .	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
7 .	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
8 .	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
9 .	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
10 .	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
11 .	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
12 .	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
13 .	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
14 .	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
15 .	就業体験	予習：就業体験について(30分) 復習：就業体験の振り返り(30分)	
教科書	適宜、資料を配布する		
参考書	適宜、資料を配布する		
学習成果の 評価方法	就業体験先からの評価(50%)、課題および提出物(50%)		
特記すべき 事項	キャリア実践論 ・ キャリア実践 ・ キャリア実践論 履修生のみ受講可		
質問・相談等 の 受 付	メール、対面、いずれも可		

科目	日本語表現法（演劇表現コース）	開講時期 履修方法	1年前期 必修、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	話し言葉としての日本語を五十音から学び、言葉を使用した表現を学ぶ 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	共通語を理解し、適正に使用できるようになる。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	授業概要の説明・自己紹介	教科書を読んでおく	
2.	「話す」「聞く」「書く」「読む」の理解	教科書を読んでおく	
3.	呼吸と発声・発音	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
4.	母音・子音・鼻濁音・母音の無声化	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
5.	「カ行」「ガ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
6.	「サ行」「ザ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
7.	「タ行」「ダ行」「ナ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
8.	「ハ行」「バ行」「パ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
9.	「マ行」「ヤ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
10.	「ラ行」音について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
11.	「ワ行」「撥音」「促音」「拗音」について	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
12.	文章を読む	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
13.			
14.			
15.			
教科書	「日本語の発声レッスン」		
参考書	「NHKアクセント辞典」		
学習成果の 評価方法	受講態度50%、授業内発表50%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の受付			

科目	日本語表現法（演劇表現コース）	開講時期 履修方法	1年後期 必修、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	話し言葉としての日本語を五十音から学び、言葉を使用した表現を学ぶ 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	共通語を理解し、適正に使用できるようになる。 より多くの人に自分の意思を表現できるように、的確な音声表現が出来るようになる。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「外郎売」の発表を総合評価とする。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	共通語のアクセント	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
2.	共通語のアクセント	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
3.	共通語のアクセント	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
4.	イントネーション	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
5.	イントネーション	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
6.	アーティキュレーション	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
7.	アーティキュレーション	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
8.	アーティキュレーション	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
9.	外郎売	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
10.	外郎売	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
11.	外郎売	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
12.	外郎売テスト	教科書を読んでおく 授業内容の確認	
13.			
14.			
15.			
教科書	「日本語の発声レッスン」		
参考書	「NHKアクセント辞典」		
学習成果の 評価方法	受講態度30%、授業内発表30%、外郎売40%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談 の受付			

科目	表現研究	開講時期 履修方法	1年前期集中 選択、専門科目
担当者	山口剛一郎	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	650年以上、途絶えることなく演じられてきた日本を代表する舞台芸術である能について学び、実際に謡と舞の表現を学ぶ。本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	袴を正しくつけ、「高砂」の謡と舞を実演することができるようになる		
学習成果の評価基準	最終日の実演にて 正しく袴をつけていること、 大きな声で謡を謡うこと、 正しい姿勢で舞うことを評価する		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習	
		予習・復習	
1.	能について 能楽の歴史、流儀、番組、能舞台について	テキストを読み予習する(30分) 授業を振り返る(30分)	
2.	能について 袴のつけ方、扇の扱い方	テキストを読み予習する(30分) 授業を振り返る(30分)	
3.	「高砂」の解説	テキストを読み予習する(30分) 授業を振り返る(30分)	
4.	「高砂」の謡、舞習得	テキストを読み予習する(30分) 授業を振り返る(30分)	
5.	「高砂」の謡、舞習得	テキストを読み予習する(30分) 授業を振り返る(30分)	
6.	「高砂」の謡、舞習得	テキストを読み予習する(30分) 授業を振り返る(30分)	
7.	「高砂」の謡、舞習得	テキストを読み予習する(30分) 授業を振り返る(30分)	
8.	「高砂」の謡、舞習得	テキストを読み予習する(30分) 授業を振り返る(30分)	
9.	「高砂」の謡、舞習得	テキストを読み予習する(30分) 授業を振り返る(30分)	
10.	「高砂」の謡、舞習得	テキストを読み予習する(30分) 授業を振り返る(30分)	
11.	「高砂」の謡、舞習得	テキストを読み予習する(30分) 授業を振り返る(30分)	
12.	「高砂」の謡、舞習得	テキストを読み予習する(30分) 授業を振り返る(30分)	
13.	公演に向けての役付け	テキストを読み予習する(30分) 授業を振り返る(30分)	
14.	公演リハーサル	テキストを読み予習する(30分) 授業を振り返る(30分)	
15.	公演	テキストを読み予習する(30分) 授業を振り返る(30分)	
教科書			
参考書	能楽初心者向け冊子「学んでみよう能・狂言」120円/冊(能楽協会)		
学習成果の評価方法	授業態度:50% 到達度の確認:50%		
特記すべき事項	足袋、浴衣、袴、扇を持参すること 能楽師として20年以上の実務経験		
質問・相談等の受付			

科 目	身体表現研究 A -	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	齊藤 彩	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	バレエのルーツに関する知識及びアカデミックなレッスンを初心の青年層を対象として指導し、学生は動くことへの興味と実践を追求する。クラシックバレエはダンスの基本であり、アカデミックなポジションを学ぶことによって美しいラインを学び、表現者として美しい立ち姿を追求する。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	バレエの基本的知識を修得し、音感の向上や身体の可能性を広げると共に、バーレッスンを通し、自己を肯定し積極的に表現することができる。		
学習成果の 評価基準	授業中の積極的な態度と授業内課題の成果をもって評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	バレエの歴史 ウーベルト (アンドゥオール) について		
2 .	腕のポジション 足のポジション 方向について バレエ用語		
3 .	バーレッスン 1		
4 .	バーレッスン 2		
5 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 3		
6 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 4		
7 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 5		
8 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 6		
9 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 7		
10 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 8		
11 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 9		
12 .	前期のまとめ・ポール・ド・ブラ		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	身体のことなので稽古量が必要とされる。自習することが望ましいが、正しく基礎をわかまえて行い怪我に注意すること。		
質問・相談 の 受 付			

科 目	身体表現研究 A -	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	齊藤 彩	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	バレエのルーツに関する知識、及びアカデミックなレッスンを初心の青年層を対象として指導し、学生は動くことへの興味と実践を追求する。クラシックバレエはダンスの基本であり、アカデミックなポジションを学ぶことによって美しいラインを学び、表現者として美しい立ち姿を追求する。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	バレエの基本的知識を修得し、音感の向上や身体の可能性を広げると共に、バーレッスンを通し、自己を肯定し積極的に表現することができる。		
学習成果の 評価基準	授業中の積極的な態度と授業内課題の成果をもって評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 1 アレグロのパへのアプローチ		
2 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 2		
3 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 3		
4 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 4		
5 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 5		
6 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 6		
7 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 7		
8 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 8		
9 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 9		
10 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 10		
11 .	バーレッスン ポール・ド・ブラ オウミリユール 11		
12 .	後期のまとめ・アダージョ・アレグロのアンシェヌマン		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	身体のことなので稽古量が必要とされる。自習をすることは望ましいが、正しく基礎をわきまえて行い、怪我に注意すること。		
質問・相談 の 受 付			

科 目	身体表現研究 B -	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	深川詞梨	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	身体表現する為の基礎を身につけていく。ステップや音楽に合わせて踊ることを学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	音楽に合わせて表現することができる。		
学習成果の 評価基準	授業態度・予習復習		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	ストレッチ・アイソレーション	ストレッチを行う	
2 .	ストレッチ・アイソレーション・ステップ	ステップ の予習・復習	
3 .	ストレッチ・アイソレーション・ステップ 復習	ステップ の復習	
4 .	ストレッチ・アイソレーション・ステップ	ステップ の復習	
5 .	ステップ 復習・ステップ ・コンビネーション	ステップ の復習コンビネーションの復習	
6 .	ステップ 復習・コンビネーション 復習・コンビネーション	ステップ の復習コンビネーション振り付けの復習	
7 .	コンビネーション 復習・音楽に合わせて踊る	コンビネーションの復習振り付けの復習	
8 .	コンビネーション ポイントをおさえながら踊ってみる	コンビネーションのポイント復習	
9 .	ターンの練習・コンビネーション を使った振り付け	ターンの復習振り付けの復習	
10 .	ターンの復習・コンビネーション を使った振り付け	ターンの復習振り付けの復習	
11 .	ターン・音楽に合わせて踊る・ポイントをおさえながら踊ってみる	ポイント復習	
12 .	ターン・コンビネーション 人前で踊る		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書	ダンスシューズ・水分補給するための飲み物・タオル・身体のラインが見える動きやすい服装		
学習成果の 評価方法	授業態度 (60%) 予習復習 (30%) 試験 (10%)		
特記すべき 事項	髪の高い方は結んでください		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	身体表現研究 B -	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	深川詞梨	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	基礎力をつけながら、色んな曲を踊ってみる。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(6)に対応する。		
到達目標	振り付けを覚え、音楽に合わせて踊れるようになる。		
学習成果の 評価基準	授業態度・予習復習		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	アントルラッセ ・ コンビネーション	アントルラッセ復習 振り付けの復習	
2 .	アントルラッセ ・ コンビネーション	アントルラッセ復習 振り付けの復習	
3 .	アントルラッセ ・ コンビネーション	振り付けの復習	
4 .	グランジュッテ ・ コンビネーション	グランジュッテの復習 振り付けの復習	
5 .	グランジュッテ ・ コンビネーション	グランジュッテの復習 振り付けの復習	
6 .	グランジュッテ ・ コンビネーション	振り付けの復習	
7 .	クラブステップ ・ コンビネーション	クラブステップの復習 振り付けの復習	
8 .	クラブステップ ・ コンビネーション	クラブステップの復習 振り付けの復習	
9 .	ロジャーラビット ・ コンビネーション	ロジャーラビット復習・振り付け の復習	
10 .	ロジャーラビット ・ コンビネーション	ロジャーラビット復習・振り付け の復習	
11 .	チャールストン ・ コンビネーション	チャールストンの復習 振り付けの復習	
12 .	チャールストン ・ コンビネーション 試験		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書	身体のラインが見える服装・シューズ・タオル・水分		
学習成果の 評価方法	授業態度(60%) 予習復習(30%) 試験(10%)		
特記すべき 事項	髪の長い人は結んでください		
質問・相談等 の 受 付			

科目	身体表現研究 C -	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	増本 藍	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	この授業では身体の使い方や身体表現について理解し、シアターダンスの技法を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	各自の長所短所を理解し、表現者として自ら課題を理解し鍛錬を積み重ねていくことができる。		
学習成果の 評価基準	前期終了時にテストを行い、その結果において評価する。 柔軟性 基礎 正確に振付を覚える 100点満点中50点以上を評価基準とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	身体基礎(1)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション ダンスの基礎について学ぶ	ストレッチ	
2 .	身体基礎(2)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、クロスフロア ダンスの基礎について学ぶ	ストレッチ	
3 .	身体基礎(3)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、クロスフロア、コンビネーション ダンスの基礎について学ぶ	ストレッチ、EX	
4 .	身体基礎(4)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、クロスフロア、コンビネーション ダンスの基礎について学ぶ	ストレッチ、EX	
5 .	身体基礎(5)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、クロスフロア、コンビネーション ダンスの基礎について学ぶ	ストレッチ、EX	
6 .	身体基礎(6)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、クロスフロア、コンビネーション ダンスの基礎について学ぶ	ストレッチ、EX、コンビネーション	
7 .	身体基礎(7)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、クロスフロア、コンビネーション ダンスの基礎について学ぶ、振付を正確に覚える	ストレッチ、EX、コンビネーション	
8 .	身体基礎(8)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、クロスフロア、コンビネーション ダンスの基礎について学ぶ、身体を使って大きく動く	ストレッチ、EX、コンビネーション	
9 .	身体基礎(9)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、クロスフロア、コンビネーション ダンスの基礎について学ぶ、身体を使って大きく動く	ストレッチ、EX、コンビネーション	
10 .	身体基礎(10)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、クロスフロア、コンビネーション 音楽を聞きアクセントや動きの流れを意識する	ストレッチ、EX、コンビネーション	
11 .	身体基礎(11)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、クロスフロア、コンビネーション オーディエンスを意識する	ストレッチ、EX、コンビネーション	
12 .	前期テスト		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度(50%)試験(50%)において評価する		
特記すべき 事項	担当者は17年間劇団四季に在籍し退団後ミュージカル講師として5年の実務経験を有しています		
質問・相談 の受付	随時可		

科目	身体表現研究 C -	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	増本 藍	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	この授業では身体の使い方や身体表現について理解し、シアターダンスの技法を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	各自の長所短所を理解し、表現者として自らの課題を理解し、鍛錬を積み重ねていくことができる。		
学習成果の 評価基準	後期終了時にテストを行い、その結果において評価する。 柔軟性 基礎 正確な振り覚え 100点満点中50点を評価基準とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	身体基礎(1)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、正確な振り覚え、スピード	ストレッチ、ピラティスEX	
2.	身体基礎(2)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、身体の使い方	ストレッチ、ピラティスEX	
3.	身体基礎(3)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、身体の使い方	ストレッチ、ピラティスEX	
4.	身体基礎(4)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、アクセント、音楽を聞く	ストレッチ、ピラティスEX	
5.	身体基礎(5)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、アクセント、音楽を聞く	ストレッチ、ピラティスEX	
6.	身体基礎(6)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、動きの流れ、ダイナミクス	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
7.	身体基礎(7)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、動きの流れ、ダイナミクス	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
8.	身体基礎(8)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、何を感じ表現するか研究	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
9.	身体基礎(9)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、何を感じ表現するか研究	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
10.	身体基礎(10)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、オーディエンスを意識して踊る	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
11.	身体基礎(11)ストレッチ、ピラティスEX、アイソレーション、フロアバレエ、クロスフロア、コンビネーション、オーディエンスを意識して踊る	ストレッチ、ピラティスEX、コンビネーション	
12.	後期テスト		
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度(50%)試験(50%)において評価する。		
特記すべき 事項	担当者は17年間劇団四季に在籍し退団後ミュージカル講師として5年の実務経験を有しています。		
質問・相談 の受付	随時可		

科 目	伝統芸能研究 A -	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	花柳三枝君	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	この授業では、浴衣の着付け、及び美しい姿勢でのお辞儀や立ち座りと、日本舞踊「菊づくし」の踊り方を理解し、日本舞踊の基本の動きを学ぶと共に、見て真似をしながら学びとることの大切さを学ぶ。本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	浴衣の着付けの習得。美しい姿勢ですり足、立ち座り、正座でお辞儀ができる。長唄「菊づくし」の稽古により、腰の落とし方、振り方、おすべりの仕方、三つ首の仕方、腕の伸ばし方などを学ぶ。長唄「菊づくし」の前半を踊れるようになる。		
学習成果の評価基準	美しい姿勢でのすり足、立ち座り、正座でのお辞儀及び受講態度（20%） 小テストの評価（30%） 仕上げテストの評価（50%）		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	日本舞踊の概説と受講時の心構え。 日本舞踊の基本となる正しい姿勢での立ち座り、お辞儀の仕方、すり足		
2 .	長唄「菊づくし」の稽古（1）		
3 .	長唄「菊づくし」の稽古（2）		
4 .	浴衣の着付け 扇子の見立てを見せ、扇子の扱いと扇子を使ってお辞儀の仕方		
5 .	浴衣の着付け 長唄「菊づくし」の稽古(3)と小テスト 回目		
6 .	長唄「菊づくし」の稽古（4）		
7 .	長唄「菊づくし」の稽古（5）		
8 .	長唄「菊づくし」の稽古(6)と小テスト2回目		
9 .	長唄「菊づくし」の稽古（7）		
10 .	長唄「菊づくし」の稽古（8）		
11 .	長唄「菊づくし」の稽古(9)と小テスト3回目		
12 .	長唄「菊づくし」の稽古(10)と仕上げテスト		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	美しい姿勢でのすり足、立ち座り、正座でのお辞儀及び受講態度（20%） 小テストの評価（30%）		
特記すべき事項	担当者は舞踊講師として36年の実務経験を有しています		
質問・相談等の受付	授業中や授業の前後にも受け付けます		

科 目	伝統芸能研究 A -	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	花柳三枝君	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	<p>前期に引き続き、美しい姿勢でのお辞儀、立ち座り等の立居振舞を学ぶ。 前期の基本の動きから小唄「白扇の」の稽古により、柔らかく繊細な動きを観て感じて表現することで、日本人独特の繊細な感性や表現があることを学ぶ。 繰り返し復習して身に付けることを学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(2)に対応する。</p>		
到達目標	<p>より美しい浴衣の着付けの習得。 美しい姿勢ですり足、立ち座り、正座でのお辞儀の習得。 小唄「白扇の」の踊りを通して、扇子の扱いができるようになる。胸を使い柔らかい動きや、目線、指先にまで気を使って美しい動きができるようになる。</p>		
学習成果の 評価基準	<p>美しい姿勢でのすり足、立ち座り、正座でのお辞儀及び受講態度（20%） 小テストの評価（30%） 仕上げテストの評価（50%）</p>		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	小唄「白扇の」の稽古(1)		
2 .	小唄「白扇の」の稽古(2)		
3 .	小唄「白扇の」の稽古(3)と小テスト 回目		
4 .	小唄「白扇の」の稽古(4)		
5 .	小唄「白扇の」の稽古(5)		
6 .	小唄「白扇の」の稽古(6)と小テスト2回目		
7 .	小唄「白扇の」の稽古(7)		
8 .	小唄「白扇の」の稽古(8)		
9 .	小唄「白扇の」の稽古(9)と小テスト3回目		
10 .	小唄「白扇の」の稽古(10)		
11 .	小唄「白扇の」の稽古(11)		
12 .	小唄「白扇の」の稽古(12)と仕上げテスト		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	<p>美しい姿勢でのすり足、立ち座り、正座でのお辞儀及び受講態度（20%） 小テストの評価（30%）</p>		
特記すべき 事項	<p>担当者は舞踊講師として36年の実務経験を有しています</p>		
質問・相談等 の 受 付	<p>授業中や授業の前後にも受け付けます</p>		

科 目	音声表現研究 A -	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	音声のみでの表現の特性を学ぶ。 スタジオ内でのマナーや用語、マイクワークの習得。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	音声表現と身体表現の連動を感じ、自身の言葉に敏感な耳を得る。		
学習成果の 評価基準	授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「ことば」「芝居」の観点から達成度を総合評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	授業概要の説明		
2 .	声優の基礎知識・声で遊ぶ	台本を読んでおく	
3 .	台詞を読む	台本を読んでおく	
4 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
5 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
6 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
7 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
8 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
9 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
10 .	アニメアフレコ	台本を読んでおく	
11 .	アニメアフレコ	台本を読んでおく	
12 .	アニメアフレコ	台本を読んでおく	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	DVD・台本等		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 40%、授業内発表 60%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	音声表現研究 A -	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	植木 誠	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	<p>音声のみでの表現の特性を学ぶ。 スタジオ内でのマナーや用語、マイクワークの習得。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(2)に対応する。</p>		
到達目標	<p>音声表現と身体表現の連動を感じ、自身の言葉に敏感な耳を得る。 声優を志す者は、特に言葉と向き合い、音声での表現力を身につける。</p>		
学習成果の 評価基準	<p>授業への取り組み方を「受講態度」として評価する。 授業内での実践発表を達成度の評価とし、段階評価をフィードバックする。 「ことば」「芝居」の観点から達成度を総合評価する。</p>		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
2 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
3 .	ボイスドラマ	台本を読んでおく	
4 .	漫画に声を合わせる	台本を読んでおく	
5 .	漫画に声を合わせる	台本を読んでおく	
6 .	漫画に声を合わせる	台本を読んでおく	
7 .	漫画に声を合わせる	台本を読んでおく	
8 .	漫画に声を合わせる	台本を読んでおく	
9 .	漫画に声を合わせる	台本を読んでおく	
10 .	漫画に声を合わせる	台本を読んでおく	
11 .	アニメアフレコ	台本を読んでおく	
12 .	アニメアフレコ	台本を読んでおく	
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	DVD・台本等		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内発表60%		
特記すべき 事項	声優として多数の作品に出演		
質問・相談等 の 受 付			

科目	音声表現研究 B -	開講時期 履修方法	1 年前期 選択、専門科目
担当者	松本美和	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	声優として必要な専門用語やスタジオマナーを学ぶ スタジオ内でのマイクワークを学ぶ 作品を作るにあたり、必要とされる演技を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	声優として必要とされる演技の習得 スタジオ内でのマナーやマイクワークの習得 専門用語を理解し台本を読むだけで世界観を把握する		
学習成果の 評価基準	授業内で積極的に発表を行い評価していく キャラクターの心情を理解・表現できているのか スタジオ内でのマイクワークを円滑に行うことができているか また 専門用語を理解しているか小テストを行う 総合評価が60%以上で合格(C判定以上)となる		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	自己紹介 自分の魅力を表現し伝えることができているか		
2.	スタジオマナー 専門用語1	配布プリントを読んでおく	
3.	専門用語2	配布プリントを読んでおく	
4.	マイクワーク	配布プリントを読んでおく	
5.	専門用語確認テスト アニメアフレコの基礎	配布プリントを読んでおく	
6.	アニメアフレコ(第一段階)1 やってみたいキャラクターに挑戦	台本を読んでおく	
7.	アニメアフレコ(第一段階)2 キャラクターの特徴や性格を理解する	台本を読んでおく	
8.	アニメアフレコ(第一段階)3 作品発表 キャラクターの確立	台本を読んでおく	
9.	アニメアフレコ(第二段階)1 自分に合ったキャラクターの模索	台本を読んでおく	
10.	アニメアフレコ(第二段階)2 演じるキャラクターやシーンや状況を理解する	台本を読んでおく	
11.	アフレコ(第二段階)3 状況に合わせた感情表現をする	台本を読んでおく	
12.	アニメアフレコ(第二段階)4 作品発表 収録した作品をみる	台本を読んでおく	
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度(40%) 授業内課題(40%) その他【演技への積極性】(20%)		
特記すべき 事項	台本、テキストは読み込み、積極的に行動、努力すること 担当者は声優として27年の実務経験を有しています		
質問・相談等 の受付	質問・相談については授業前後に授業場所にて受け付ける		

科目	音声表現研究 B -	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	松本美和	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	アニメアフレコにおいて声優として必要とされる芝居を学ぶ スタジオ内でのマイクワークを学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	声優として必要とされる芝居の確立 台本中で使用されている専門用語を理解することにより、作品の世界観を把握する マイクワークを身につけ制作作業を円滑に行う		
学習成果の 評価基準	授業内で積極的に発表を行い評価していく (キャラクターの心情を理解・表現できているのか スタジオ内でのマイクワークを円滑に行うことができるか) 総合評価が60%以上で合格(C判定以上)となる		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	アニメアフレコ1-1 綿密なキャラクター作り(第一段階)	台本を読んでおく	
2.	アニメアフレコ1-2 綿密なキャラクター作り(第二段階)	台本を読んでおく	
3.	アニメアフレコ1-3 綿密なキャラクター作り(第三段階)	台本を読んでおく	
4.	アニメアフレコ1-4 作品発表 綿密なキャラクター作り(第四段階)	台本を読んでおく	
5.	アニメアフレコ2-1 長文のセリフに挑戦(第一段階)	台本を読んでおく	
6.	アニメアフレコ2-2 長文のセリフに挑戦(第二段階)	台本を読んでおく	
7.	アニメアフレコ2-3 長文のセリフに挑戦(第三段階)	台本を読んでおく	
8.	アニメアフレコ2-4 作品発表 長文のセリフに挑戦(第四段階)	台本を読んでおく	
9.	アニメアフレコと外画アテレコの違い 外画アテレコの収録を知る	配布プリント読んでおく	
10.	外画アテレコ1-1 映像解析	台本を読んでおく	
11.	外画アテレコ1-2 アテレコ実践	台本を読んでおく	
12.	外画アテレコ1-3 作品発表	台本を読んでおく	
13.			
14.			
15.			
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度(40%) 授業内課題(40%) その他【演技への積極性】(20%)		
特記すべき 事項	台本、テキストは読み込み、積極的に行動、努力すること 担当者は声優として27年の実務経験を有しています		
質問・相談等 の受付	質問・相談については授業前後に授業場所にて受け付ける		

科 目	歌唱表現法	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	辺春容子	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	楽譜に慣れ、音楽の基礎知識やソルフェージュ力を身につける。実技を通して、発生方法や身体の使い方を学ぶ。本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	5度音程までの視唱をアカペラで歌唱できるようになる。なだらかな発語で課題曲の歌唱ができるようになる。		
学習成果の 評価基準	授業内で行ったことの復習、定着の度合い。 実技試験での音程・声量・表現の観点における評価		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)		授業時間外学習
			予習・復習
1.	音楽の基礎知識 視唱(2度音程1~2)		前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
2.	音楽の基礎知識 視唱(2度音程)	リズム練習1-1 課題曲(1)-1	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
3.	リズム練習1-2 視唱(2度音程)	課題曲(1)-2 課題曲(2)-1	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
4.	リズム練習2-1 視唱(2度音程)	課題曲(1)-3 課題曲(2)-2	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
5.	リズム練習2-2 視唱(2度音程)	課題曲(1)-4 課題曲(2)-3	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
6.	リズム練習3-1 視唱(3度音程)	課題曲(2)-4 課題曲(3)-1	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
7.	リズム練習3-2 視唱(3度音程)	課題曲(3)-2 課題曲(4)-1	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
8.	リズム練習3-3 視唱(4度音程)	課題曲(3)-3 課題曲(4)-2	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
9.	リズム練習4-1 視唱(4度音程)	課題曲(3)-3 課題曲(4)-2	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
10.	リズム練習4-2 視唱(4度音程)	課題曲(4)-3 課題曲復習	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
11.	リズム練習1-2 視唱(4度音程)	課題曲復習	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
12.	授業のまとめ		前回の授業内容の復習
13.			
14.			
15.			
教科書	基礎ソルフェージュ(ソルフェージュ教育ライブラリー) 課題曲は授業時に配布		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度20%、到達度確認テスト80%		
特記すべき 事項	実技に差し支えることのないように、各自で健康管理をしっかりと行っておく。		
質問・相談 の受付			

科 目	歌唱表現法	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	辺春容子	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	前期の学習を踏まえ、より音楽的な歌唱表現をめざす。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(2)に対応する。		
到達目標	さらに広い音程を安定して歌唱できるようになる。歌詞を理解することでより豊かな歌唱表現を工夫できるようになる。		
学習成果の 評価基準	授業内で行ったことの復習、定着の度合い。 実技試験での音程・声量・表現の観点における評価		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	リズム練習 5 - 1 視唱 (5 度音程)	課題曲 (5) (6) - 1	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
2 .	リズム練習 5 - 3 視唱 (5 度音程)	課題曲 (5) (6) - 2	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
3 .	リズム練習 6 - 1 視唱 (6 度音程)	課題曲 (5) (6) - 3	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
4 .	リズム練習 6 - 2 視唱 (6 度音程)	課題曲 (7) (8) - 1	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
5 .	リズム練習 6 - 3 視唱 (6 度音程)	課題曲 (7) (8) - 2	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
6 .	リズム練習 7 - 1 視唱 (7 度音程)	課題曲 (7) (8) - 3	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
7 .	リズム練習 7 - 2 視唱 (8 度音程)	課題曲 (9) (10) - 1	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
8 .	リズム練習 7 - 3 視唱 (8 度音程)	課題曲 (9) (10) - 2	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
9 .	リズム練習 8 - 1 視唱 (総合練習)	課題曲 (9) (10) - 3	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
10 .	リズム練習 8 - 1 視唱 (総合練習)	課題曲復習	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
11 .	リズム練習 8 - 2 視唱 (総合練習)	課題曲復習	前回の授業内容の復習 次回の課題の譜読み
12 .	後期のまとめ		前回の授業内容の復習
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	基礎ソルフェージュ (ソルフェージュ教育ライブラリー) 課題曲は授業時に配布		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 20%、到達度確認テスト 80%		
特記すべき 事項	実技に差し支えることのないように、各自で健康管理をしっかりと行っておく。		
質問・相談 の 受 付			

科 目	ミュージカル研究	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	ミュージカルとは楽曲、ストーリー、台詞の中から感情を起点にダイナミックに伝える舞台表現です。それを表現するために呼吸法、発声法、身体の使い方から舞台表現までの基礎を学びます。本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克服出来る。ミュージカルを通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。		
学習成果の評価基準	授業内課題において評価する。 譜面を読み、複式発声でしっかり音がとれる。 楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中50点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ミュージカルとはなにか？(歴史と作品を学ぶ)	ウォーミングアップ	
2.	発声の仕組みと呼吸法・発声法を学ぶ	発声・呼吸法	
3.	発声練習・ソルフェージュ を歌い、楽曲 の譜読みをする	発声・呼吸法・譜読み	
4.	発声練習・ソルフェージュ を歌い、楽曲 の構成を分析し、歌唱する	発声・呼吸法・譜読み	
5.	発声練習・ソルフェージュ を歌い、楽曲 のハーモニーを練習する	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
6.	発声練習・ソルフェージュ を歌い、楽曲 を歌いこむ	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
7.	発声練習・ソルフェージュ を歌い、楽曲 に感情表現を入れて歌う	録音した音源を聞き、自らの声を聴く	
8.	楽曲 にステージングと台詞を入れてシーンを演じる	感情・歌・動きを整理する	
9.	楽曲 のシーンを創造する	感情・歌・動きを整理する	
10.	楽曲 のシーンを総合的に演じる	感情・歌・動きを整理する	
11.	楽曲 のシーン(課題)を発表する	感情・歌・動きを整理する	
12.	まとめ・振り返り	客観的に振り返る	
13.			
14.			
15.			
教科書	プリントを配布		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度(30%) 授業内課題(70%)		
特記すべき事項	動ける服装で受講のこと。 1987年~2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等の受付	随時可		

科 目	ミュージカル研究	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏・生野奈都美	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	ミュージカルとは楽曲、ストーリー、台詞の中から感情を起点にダイナミックに伝える舞台表現です。それを表現するために呼吸法、発声法、身体の使い方から舞台表現までの基礎を学びます。本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	自分の声や身体の特徴を知り、自ら課題を克服出来る。ミュージカルを通して自分自身の価値を見出すと共に、協調性やコミュニケーション力を身に付ける。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 譜面を読み、複式発声でしっかり音がとれる。 楽曲のイメージを具体的に表現出来る。 身体と感情をコントロールして、歌唱表現が出来る。 100点満点中50点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	楽曲 を譜読みする	発声・呼吸法・譜読み	
2.	楽曲 を分析し歌う	発声・呼吸法・譜読み	
3.	楽曲 を歌い込む	録音し、反復練習	
4.	楽曲 を歌い込む	録音し、反復練習	
5.	楽曲 に台詞とステージングを入れて表現する	録音し、反復練習	
6.	楽曲 に台詞とステージングを入れて表現する	録音し、反復練習	
7.	楽曲 を発表(課題)する	客観的に振り返る	
8.	楽曲 を譜読みする	発声・呼吸法・譜読み	
9.	楽曲 を分析し歌う	発声・呼吸法・譜読み	
10.	楽曲 歌い込む	録音し、反復練習	
11.	楽曲 にステージングと台詞を入れて表現する	録音し、反復練習	
12.	楽曲 を(課題)発表する	客観的に振り返る	
13.			
14.			
15.			
教科書	プリントを配布する		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(30%) 授業内課題(70%)		
特記すべき 事項	動ける服装で受講のこと。 1987年~2017年東京にて多数のミュージカル作品に出演、演出。		
質問・相談等 の受付	随時可		

科目	音楽表現	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	上田聖子	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	ミュージカルの楽曲はなぜ人々の魂を揺り動かすのか。そこには一千数百年をかけて進化してきた西洋音楽の秘密が隠されている。時を超えて脈々と引き継がれてきたその秘密を紐解く。本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	楽曲に込められた3つの秘密を知り、それを表現する方法を身につける。その表現法には『正解』があることを理解する。		
学習成果の評価基準	授業内において評価する。 (1)何をどう感じれば良いのかを理解する事ができる。 (2)楽曲を分析する事ができる。 (3)『正解』を表現する事ができる。 100点満点中60点以上を評価基準とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	『音』とは何か、『楽譜』とは何か、『声』とは何かを考える。	ウォーミングアップ	
2.	楽曲1の楽譜と対面する。譜読みをする。楽曲の構成を分析する。	C major scaleを練習する。	
3.	楽曲1のコード進行を分析する。それがなぜ心に刺さるのかを理解する。	C major cadenceを練習する。	
4.	楽曲1のメロディーを分析する。作曲家の心の叫びを理解する。	C major scaleをマスターする。	
5.	楽曲1の歌詞を分析する。なぜこのフレーズにこの歌詞が当てはめられているのか、それを歌う登場人物の心の叫びを体験する。	C major cadenceをマスターする。	
6.	楽曲1を歌う。	F major scaleを練習する。	
7.	楽曲2の楽譜と対面する。譜読みをする。楽曲の構成を分析する。	F major cadenceを練習する。	
8.	楽曲2のコード進行を分析する。それがなぜ心に刺さるのかを理解する。	F major cadenceを練習する。	
9.	楽曲2のメロディーを分析する。作曲家の心の叫びを理解する。	F major scaleをマスターする。	
10.	楽曲2の歌詞を分析する。なぜこのフレーズにこの歌詞が当てはめられているのか、それを歌う登場人物の心の叫びを体験する。	F major cadenceをマスターする。	
11.	楽曲2を歌う。	楽曲1、2を歌う。	
12.	まとめ。		
13.			
14.			
15.			
教科書	プリントを配布。		
参考書			
学習成果の評価方法	受講態度(30%)授業内課題(70%)		
特記すべき事項	作曲家、音楽監督として40年以上の経験を有する。		
質問・相談等の受付	随時可		

科 目	音楽表現	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	上田聖子	授業形態 単位数	実技 0.5単位
授業概要	ミュージカルの楽曲はなぜ人々の魂を揺り動かすのか。そこには一千数百年をかけて進化してきた西洋音楽の秘密が隠されている。時を超えて脈々と引き継がれてきたその秘密を紐解く。本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	楽曲に込められた3つの秘密を知り、それを表現する方法を身につける。その表現法には『正解』があることを理解する。		
学習成果の 評価基準	授業内において評価する。 (1)何をどう感じれば良いのかを理解する事ができる。 (2)楽曲を分析する事ができる。 (3)『正解』を表現する事ができる。 100点満点中60点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	音楽表現 を振り返る。	音楽表現 を復習する。	
2 .	楽曲3の楽譜と対面する。譜読みをする。楽曲の構成を分析する。	Aminorscaleを練習する。	
3 .	楽曲3のコード進行を分析する。それがなぜ心に刺さるのかを理解する。	Aminorcadenceを練習する。	
4 .	楽曲3のメロディーを分析する。作曲家の心の叫びを理解する。	Aminorscaleをマスターする。	
5 .	楽曲3の歌詞を分析する。なぜこのフレーズにこの歌詞が当てはめられているのか、それを歌う登場人物の心の叫びを体験する。	Aminorcadenceをマスターする。	
6 .	楽曲3を歌う。	Eminorscaleを練習する。	
7 .	楽曲4の楽譜と対面する。譜読みをする。楽曲の構成を分析する。	Eminorcadenceを練習する。	
8 .	楽曲4のコード進行を分析する。それがなぜ心に刺さるのかを理解する。	Eminorcadenceを練習する。	
9 .	楽曲4のメロディーを分析する。作曲家の心の叫びを理解する。	Eminorcadenceをマスターする。	
10 .	楽曲4の歌詞を分析する。なぜこのフレーズにこの歌詞が当てはめられているのか、それを歌う登場人物の心の叫びを体験する。	Eminorcadenceをマスターする。	
11 .	楽曲4を歌う。	楽曲 1、2、3、4 を歌う。	
12 .	まとめ。		
13 .			
14 .			
15 .			
教科書	プリントを配布。		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度 (30%) 授業内課題 (70%)		
特記すべき 事項	作曲家、音楽監督として40年以上の経験を有する。		
質問・相談等 の 受 付	随時可		

科目	劇場論	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	梁木靖弘	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	<p>私たち人間は、言語をはじめいろいろな表現を駆使して他者と交流する。この授業では表現の集合体である劇場を中心に、さまざまな角度から表現にかかわる分野の広がりや深さをつかみ取ってもらおう。身体表現の現場で常識として知っておいてほしい文化史のキーワードを選び、文章によるレジュメや映像を通して表現活動の全体像を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(7)に対応する。</p>		
到達目標	<p>表現の現場に必要なのは、感性を磨くこと。つまり人間としての価値を発見することだが、これは体験を通してしか見つけられない。同時に必要な知性は、自分を取り巻く世界を立体的に把握する能力であり、数多くの考え方に触れる必要がある。この授業を通して感性と知性のどちらも学び、将来のさまざまな表現の現場に対応できる基礎を作る。</p>		
学習成果の評価基準	<p>授業成績は、授業への取り組み態度（活発な関心を持ち、質疑応答によって理解を深めることなど）、毎回のレポート提出によって総合評価し、総合評価が60%以上で合格（C判定以上）となる。</p>		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	文化ということば 祭り遊びをめぐって	予習：短編小説・戯曲を読む（30分） 復習：レジュメを読み直す（30分）	
2.	芸術ということば 芸術とアートについて	予習：短編小説・戯曲を読む（30分） 復習：レジュメを読み直す（30分）	
3.	エンターテインメント（娯楽） 芸能とは何か	予習：短編小説・戯曲を読む（30分） 復習：レジュメを読み直す（30分）	
4.	悲劇と喜劇 それはギリシャ演劇から始まった	予習：短編小説・戯曲を読む（30分） 復習：レジュメを読み直す（30分）	
5.	ダンスとバレエ ひととはなぜ踊るのか	予習：短編小説・戯曲を読む（30分） 復習：レジュメを読み直す（30分）	
6.	オペラとオペレッタ ひととはなぜ歌うのか	予習：短編小説・戯曲を読む（30分） 復習：レジュメを読み直す（30分）	
7.	ミュージカル それは芸術か芸能か	予習：短編小説・戯曲を読む（30分） 復習：レジュメを読み直す（30分）	
8.	写真と映画の登場 それは娯楽か芸術か	予習：短編小説・戯曲を読む（30分） 復習：レジュメを読み直す（30分）	
9.	日本の劇場 能・狂言 <雅と俗>	予習：短編小説・戯曲を読む（30分） 復習：レジュメを読み直す（30分）	
10.	日本の劇場 歌舞伎 <世界と趣向>	予習：短編小説・戯曲を読む（30分） 復習：レジュメを読み直す（30分）	
11.	日本の劇場 文楽 <人形と人間>	予習：短編小説・戯曲を読む（30分） 復習：レジュメを読み直す（30分）	
12.	大衆芸能と民族芸能 <漂泊と土着>	予習：短編小説・戯曲を読む（30分） 復習：レジュメを読み直す（30分）	
13.	ジャンルなきパフォーマンスの時代	予習：短編小説・戯曲を読む（30分） 復習：レジュメを読み直す（30分）	
14.	劇場を持たない演劇<コメディア・デラルテ> 世界は劇場である<バロック演劇>	予習：短編小説・戯曲を読む（30分） 復習：レジュメを読み直す（30分）	
15.	まとめ	予習：これまでの内容を振り返る（30分） 復習：レジュメを読み直す（30分）	
教科書	<p>購入する必要はないが、ヨハン・ホイジンガ『ホモ・ルーデンス』（中公文庫）、フリードリヒ・ニーチェ『悲劇の誕生』（岩波文庫）、コンスタン・ミック著梁木靖弘訳『コメディア・デラルテ』（未来社）などを使用する。</p>		
参考書	<p>毎回、担当者の作成したレジュメを配布する。</p>		
学習成果の評価方法	<p>出席・受講態度（40%）、毎回の授業レポート（40%）、期末レポート（20%）</p>		
特記すべき事項	<p>九州芸術祭文学賞選考委員（継続中）、西日本新聞書評執筆（継続中）、映画・演劇評論（朝日新聞・西日本新聞などに執筆）、アジアフォーカス・福岡国際映画祭ディレクター（2007～2021）などを歴任しています。</p>		
質問・相談等の受付	<p>質問・相談は授業後に、非常勤講師室で受け付ける。</p>		

科目	舞台演習	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台監督の仕事を通して、舞台創造の基礎を学ぶ 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	舞台芸術におけるスタッフワークについての基礎知識を身に付ける。		
学習成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果やレポートの提出で評価をします。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	劇場の基礎知識を学ぶ (講義内容の説明・大谷小劇場の見学)	予習: シラバスを読む(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
2.	劇場の基礎知識を学ぶ (劇場見学 大谷講堂の見学)	予習: 劇場の事を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
3.	劇場の基礎知識を学ぶ (舞台用語 舞台基礎知識の把握)	予習: 舞台用語を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
4.	劇場の基礎知識を学ぶ (舞台用語 舞台基礎知識の把握)	予習: 舞台用語を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
5.	舞台のパミリについて説明と実践(舞台稽古、舞台転換、本番を想定する)	予習: パミリを調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
6.	舞台の安全についての説明と考察(足元灯具や手元灯りの重要性、出演者導線の確認など)	予習: 安全を考える(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
7.	舞台稽古について(舞台稽古の立ち会い方、台本製本の仕方など)	予習: 舞台稽古を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
8.	劇場の使い方(事前打ち合わせ、劇場備品使用申請、現状復帰、挨拶の重要性など)	予習: 劇場管理を考える(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
9.	劇場の舞台機構を覚える(綱元の仕組み、綱元の安全確認)	予習: 劇場機構を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
10.	劇場の舞台機構を覚える(綱元操作)	予習: 劇場機構を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
11.	劇場の舞台機構を覚える(綱元操作)	予習: 劇場機構を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
12.	舞台図面についての説明と実践(舞台平面図、舞台断面図、舞台転換表)	予習: 舞台図面を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
13.	舞台の仕込み(平台と箱馬の仕込み)	予習: 劇場備品を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
14.	舞台の仕込み(舞台幕類の仕込み)	予習: 劇場備品を調べる(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
15.	まとめ(前期の復習・振り返りと点検)	予習: 前期を振り返る(30分) 復習: 授業を振り返る(30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度(40%)、授業内課題(30%)、レポート課題(30%)		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付	質問・相談は授業の前後に受け付ける。		

科 目	舞台演習	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	井上嘉人	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	前期の舞台演習 で学んだ基礎知識を基に、より詳細な劇場スタッフに必要な知識を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(4)に対応する。		
到達目標	質の高い舞台芸術を創作するためのスタッフの役割と業務を理解する。		
学習成果の 評価基準	受講態度に加え授業内課題の成果やレポートの提出で評価をします。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	前期の復習 (前期で学んだ事の再確認)	予習 : 前期を振り返る (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
2 .	綱元操作の復習 (舞台機構の再確認)	予習 : 舞台機構を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
3 .	綱元操作の復習 (舞台機構の再確認)	予習 : 舞台機構を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
4 .	綱元操作の復習 (舞台機構の再確認)	予習 : 舞台機構を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
5 .	舞台監督の役割についての説明と確認	予習 : 舞台監督を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
6 .	事前準備の重要性について (公演演目の確認とスタッフ打ち合わせ内容の確認など)	予習 : 事前準備を考える (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
7 .	事前準備の重要性について (タイムスケジュールのプランニング、各スタッフの確認など)	予習 : 事前準備を考える (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
8 .	舞台監督のしごと (搬入、仕込みなど)	予習 : 舞台監督を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
9 .	舞台監督のしごと (舞台転換の確認、テクニカルリハーサルなど)	予習 : 舞台監督を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
10 .	舞台監督のしごと (舞台稽古、稽古スケジュール、ゲネプロなど)	予習 : 舞台監督を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
11 .	舞台監督のしごと (本番、バラシなど)	予習 : 舞台監督を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
12 .	舞台備品の仕込み (電動工具を使った大道具設置、インパクトドライバーの使い方)	予習 : 電動工具を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
13 .	舞台備品の仕込み (スチールデッキ)	予習 : 劇場備品を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
14 .	舞台備品の仕込み (パネルの仕込み)	予習 : 劇場備品を調べる (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
15 .	まとめ (後期の復習 ・ 振り返りと点検)	予習 : 後期を振り返る (30分) 復習 : 授業を振り返る (30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度40%、授業内課題30%、レポート30%		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の 受 付	質問・相談は授業の前後に受け付ける。		

科目	音響基礎	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	穂田裕司	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	この授業では音響の基本知識・技術の習得を理解し実際に演劇公演等での音響基礎知識の技法を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	中間発表に必要な音響技術の実習を到達目標とする。 (演劇公演等に行うSE(効果音)等の再生オペレートを行う作業)		
学習成果の 評価基準	基礎的な到達度確認テスト(レポート)を実施し評価する。 授業での積極的な態度や活動を評価とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	音響の基礎 音響システムの基本構成と役割について	予習30分: PAについて調べる 復習30分: 前回の内容を振り返る	
2.	音響の基礎 音響システムの基本構成と役割について	予習30分: 音響システムについて調べる 復習30分: 前回の内容を振り返る	
3.	各種ケーブルの巻き方 マイクケーブルを実際に巻く	予習30分: ケーブルの巻き方8の字巻きについて調べる 復習30分: 前回の内容を振り返る	
4.	各種ケーブルの巻き方 太めのマルチケーブルを巻く	予習30分: ケーブルの巻き方8の字巻きについて調べる 復習30分: 前回の内容を振り返る	
5.	音響機器の特性と用途	予習30分: オーディオ再生機器について調べる 復習30分: 前回の内容を振り返る	
6.	音響機器の特性と用途	予習30分: その他のオーディオ再生機器について調べる 復習30分: 前回の内容を振り返る	
7.	音響ミキサーについて	予習30分: アナログミキサーについて調べる 復習30分: 前回の内容を振り返る	
8.	音響ミキサーについて	予習30分: アナログミキサーの操作方法について調べる 復習30分: 前回の内容を振り返る	
9.	音響ミキサーについて	予習30分: アナログミキサーの操作方法について調べる2 復習30分: 前回の内容を振り返る	
10.	音響機材の接続	予習30分: 音響機材接続について調べる 復習30分: 前回の内容を振り返る	
11.	音響機材の接続	予習30分: その他音響機材接続について調べる 復習30分: 前回の内容を振り返る	
12.	音響機材の接続	予習30分: その他音響機材接続について 復習30分: 前回の内容を振り返る	
13.	劇場の音響について	予習30分: 劇場等の音響システムについて調べる 復習30分: 前回の内容を振り返る	
14.	劇場の音響について	予習30分: 劇場等の音響システムについて調べる2 復習30分: 前回の内容を振り返る	
15.	まとめ	予習30分: これまでのの内容を振り返る 復習30分: 本科目を振り返る	
教科書	なし		
参考書	マイクロホンテクニック		
学習成果の 評価方法	受講態度 (40%) 授業内課題 (30%) その他【到達度テスト】(30%)		
特記すべき 事項	各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の受付			

科 目	音響基礎	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	穂田裕司	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	この授業では、音響の基礎技術を習得し、音響システムを理解し音響のオペレーターの技法を学ぶ。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	音が出るまでの配線等を理解しオペレーターを行える事を目標とする。		
学習成果の 評価基準	到達度確認テストを実施し評価する。 授業での積極的な態度や活動を評価とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	音響の仕込み図の書き方	予習30分：記号・楽器等について調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
2 .	音響の仕込み図の書き方	予習30分：音響仕込み図について調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
3 .	仕込み図を見てのセッティング	予習30分：仕込み図の見方を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
4 .	劇場にての音出し	予習30分：どのような音響セッティングがあるか調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
5 .	イコライザーでの調整方法	予習30分：イコライザーについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
6 .	エフェクターの種類について	予習30分：エフェクターの種類を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
7 .	音源の編集	予習30分：効果音について調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
8 .	音源の編集	予習30分：音源の編集方法を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
9 .	音源の編集	予習30分：音源の編集方法を調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
10 .	デジタルミキサーの使い方	予習30分：デジタルミキサーについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
11 .	デジタルミキサーの使い方	予習30分：デジタルミキサーについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
12 .	音源の再生	予習30分：音響システムからの音出しについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
13 .	音源の再生	予習30分：音響システムからの音出しについて調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
14 .	音響機器を一人で接続してみる	予習30分：音響機材の配線について調べる 復習30分：前回の内容を振り返る	
15 .	まとめ	予習30分：これまでのの内容を振り返る 復習30分：本科目を振り返る	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度 (40%) 授業内課題 (30%) その他【到達度テスト】 (30%)		
特記すべき 事項	この科目の単位が取得できなければ、後期「音響基礎」は履修できない 各授業において予習30分、復習30分を必要とする。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	照明基礎	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	辻 恵子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	舞台照明の基礎知識と作業内容の学習。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	舞台芸術における照明の役割を理解する		
学習成果の 評価基準	受講態度及び授業内課題の成果で評価		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	舞台照明の役割、光の当て方、機材の種類	予習 (30分) 舞台照明について調べる 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
2 .	舞台芸術における様々な照明演出効果、専門用語について	予習 (30分) 舞台芸術について調べる 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
3 .	カラーフィルター及びゴボの使用方法と管理	予習 (30分) 光の三原色について調べる 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
4 .	照明仕込図、電気の知識について	予習 (30分) 照明仕込図について調べる 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
5 .	ケーブルの種類、DMX信号について	予習 (30分) 舞台照明用配線器具について 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
6 .	サスペンションライト吊込み、安全作業について	予習 (30分) 安全作業について調べる 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
7 .	チャンネル表、パッチ、点灯チェック、トラブル対応等	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
8 .	フォーカス(サス)、照明操作棒の取り扱い方法	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
9 .	フォーカス(ステージ、フロント、シーリング)、高所作業について	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
10 .	夏公演～プランニング、キューシート作成、イメージ共有	予習 (30分) 台本の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
11 .	夏公演～仕込図およびチャンネル表について	予習 (30分) キューシートの確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
12 .	夏公演～仕込み	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
13 .	夏公演～フォーカス	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
14 .	夏公演～明かりづくり(調光卓操作)、きっかけ合わせ	予習 (30分) キューシートの確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
15 .	夏公演～ふりかえり	予習 (30分) 作業全般のふりかえり 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	作業ができる服装・皮手袋を必要とします。 担当者は舞台照明技術者として30年の実務経験を有します。		
質問・相談等 の受付	授業前後に授業場所にて受け付けます。		

科 目	照明基礎	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	辻 恵子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	作品の照明演出効果を考える。照明仕込図についての学習。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	作品に必要な照明をイメージすることができる。		
学習成果の 評価基準	受講態度及び授業内課題の成果で評価		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	前期学習内容のふりかえり、今後の学習について	予習 (30分) 前期での作業内容の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
2 .	アンドワン公演～プランニング	予習 (30分) 台本の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
3 .	アンドワン公演～仕込図およびチャンネル表を読む	予習 (30分) プランニングの確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
4 .	アンドワン公演～フォーカス	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
5 .	アンドワン公演～シーンの再生 (調光卓操作)	予習 (30分) 台本の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
6 .	アンドワン公演～まとめ	予習 (30分) 作業全般のふりかえり 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
7 .	撤去作業、安全作業、機材メンテナンスについて	予習 (30分) 舞台照明機材メンテナンスについて 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
8 .	卒業公演～プランニング、キューシート作成	予習 (30分) 台本の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
9 .	卒業公演～プランニングの共有	予習 (30分) キューシートの確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
10 .	卒業公演～仕込図およびチャンネル表を読む	予習 (30分) キューシートの確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
11 .	卒業公演～仕込み、パッチ、点灯チェック	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
12 .	卒業公演～フォーカス	予習 (30分) 仕込図の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
13 .	卒業公演～明かりづくり (シーン記憶・再生・修正)	予習 (30分) キューシートの確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
14 .	卒業公演～きっかけ合わせ	予習 (30分) 台本の確認 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
15 .	卒業公演～ふりかえり	予習 (30分) 作業全般のふりかえり 復習 (30分) 授業内容ふりかえり	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	受講態度 (50%) 授業内課題 (50%)		
特記すべき 事項	作業ができる服装・皮手袋を必要とします。 担当者は舞台照明技術者として30年の実務経験を有します。		
質問・相談等 の受付	授業前後に授業場所にて受け付けます。		

科 目	表現基礎	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	<p>いかなる表現もその大元となるのは「感情」である。その「感情」を表現するために、訓練された発声法が必要であり、肉体が必要である。この講座では基本となる感情の動きに焦点を合わせ舞台表現者としての基礎を学びます。</p> <p>本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(3)に対応する。</p>		
到達目標	自己の肉体と声を知り、自分にしか出来ない自由な表現が出来るようになる。		
学習成果の 評価基準	<p>授業内課題において評価する。 ニュートラルに立ち、歩くことが出来る。 腹式呼吸で大きく発声することが出来る。 嘘のない感情表現をすることが出来る。 独創性を持ち、自由な発想で表現することが出来る。</p>		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	発声法 (発声の仕組みを学ぶ)	ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
2 .	発声法 (腹式呼吸について)	ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
3 .	発声法 (身体の共鳴について)	ウォーミングアップ(予習30分・復習30分)	
4 .	肉体表現 (肉体コントロールとリラックス)	ウォーミングアップ・発声・リラックス(予習30分・復習30分)	
5 .	肉体表現 (動物を観察する)	ウォーミングアップ・発声・リラックス(予習30分・復習30分)	
6 .	肉体表現 (音楽に身を任せる)	ウォーミングアップ・発声・リラックス(予習30分・復習30分)	
7 .	感情表現 (感情の起こりを学ぶ)	自分の感情と向き合う(予習30分・復習30分)	
8 .	感情表現 (相手からもらうことが真実に繋がる)	人物を観察する(予習30分・復習30分)	
9 .	感情表現 (衝動に身を任せる)	心を開放する(予習30分・復習30分)	
10 .	エチュード (自由な発想と刺激と反応について学ぶ)	存在することを考える(予習30分・復習30分)	
11 .	エチュード (リアリズム演技とは～想像の設定の中で真実を生きる)	存在することを考える(予習30分・復習30分)	
12 .	エチュード (相手からもらい、伝える)	存在することを考える(予習30分・復習30分)	
13 .	空間演技 (空間の中で自分と相手との関係を感じる)	ウォーミングアップ・発声・リラックス(予習30分・復習30分)	
14 .	空間演技 (目に見えないものを表現するには)	ウォーミングアップ・発声・リラックス(予習30分・復習30分)	
15 .	課題発表	ウォーミングアップ・発声・リラックス(予習30分・復習30分)	
教科書	プリントを配布する。		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度(30%)授業内課題(70%) 授業内課題発表時にコメントし、フィードバックします。		
特記すべき 事項	1987年～2017年まで東京において俳優・演出家として数々の作品に出演し、演出する。 ジャージやスウェットなど動ける服装で受講のこと。		
質問・相談等 の受付	随時可。		

科 目	表現基礎	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	いかなる表現もその大元となるのは「感情」である。その「感情」を表現するために、訓練された発声法が必要であり、肉体が必要である。この講座では基本となる感情の動きに焦点を合わせ舞台表現者としての基礎を学びます。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(3)に対応する。		
到達目標	自己の肉体と声を知り、自分にしか出来ない自由な表現が出来るようになる。		
学習成果の 評価基準	授業内課題において評価する。 ニュートラルに立ち、歩くことが出来る 腹式呼吸で大きく発声することが出来る 嘘のない感情表現をすることが出来る 独創性を持ち、自由な発想で表現することが出来る。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
16 .	漫オ・コント (ネタ作る)	プロのネタを見る(予習30分・復習30分)	
17 .	漫オ・コント (ネタを添削する)	ネタを合わせる(予習30分・復習30分)	
18 .	漫オ・コント (発表する)	笑いとはなにか考える(予習30分・復習30分)	
19 .	シーン・ワーク(1)(戯曲の理解と分析)	台本を読み込む(予習30分・復習30分)	
20 .	シーン・ワーク (戯曲の理解と分析)	人物の背景を分析する(予習30分・復習30分)	
21 .	シーン・ワーク (人物を演じる)	言葉の意味とベクトルを理解する(予習30分・復習30分)	
22 .	シーン・ワーク (人物を演じる)	感情を準備する(予習30分・復習30分)	
23 .	シーン・ワーク (相手を感じる)	相手の台詞を聴く(予習30分・復習30分)	
24 .	シーン・ワーク (相手を感じる)	相手を観察する(予習30分・復習30分)	
25 .	シーン・ワーク (自由な衝動に身を任せる)	相手に集中する(予習30分・復習30分)	
26 .	シーン・ワーク (制約の中で衝動に身を任せる)	俯瞰で自分を見る(予習30分・復習30分)	
27 .	シーン・ワーク (発声と肉体を使って表現する)	感情を伝えることを考える(予習30分・復習30分)	
28 .	シーン・ワーク (存在する)	表現を削る(予習30分・復習30分)	
29 .	シーン・ワーク (発表する)	楽器を整える(予習30分・復習30分)	
30 .	まとめ	前期を振り返る(予習30分・復習30分)	
教科書	プリントを配布する。		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度(30%)授業内課題(70%) 授業内課題発表時にコメントし、フィードバックします。		
特記すべき 事項	1987年～2017年まで東京において俳優・演出家として数々の作品に出演し、演出する。 ジャージやスウェットなど動ける服装で受講のこと。		
質問・相談等 の受付	随時可。		

科目	舞台表現法	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	演技理論、演技ワークショップを交えながら戯曲と日本語を有効的に学ぶ。 また、実践として、小規模の上演発表を行い、作品と演技の理解を深める。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	人間の内にある思考や感情を省察し、適切に表現することができる。		
学習成果の 評価基準	演技表現に関する積極的な取り組み、発表を「授業態度」の評価とする。 作品研究、人物考察の達成度を測るための「到達度確認テスト」で評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	イントロダクション/学びのねらいと進め方について 稽古場の三原則を理解する。	予習: 配布資料を読んでおく(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
2.	マップコミュニケーションと登場人物の背景について分かる	予習: MAPを作成する(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
3.	演劇ワーク「条件つきバスケット」と「ジョハリの窓」解説	予習: ウォーミングアップをする(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
4.	複式呼吸を体得し、バランスの取れた身体感覚を持つことが出来る	予習: 配布資料を読んでおく(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
5.	身体運動と下半身の安定、ニュートラルな姿勢・歩行のレッスン	予習: 配布資料を読んでおく(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
6.	演劇ワーク「WA!」「ストーリーづくり」気持ちの開放について	予習: 配布資料を読んでおく(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
7.	「見る・見られる」ことによる心理的・身体的観察が出来る	予習: 配布資料を読んでおく(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
8.	緊張のコントロールについて「自意識とイメージ力」考察	予習: 配布資料を読んでおく(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
9.	丹田を知覚し、心身の状態を保つことに役立てる	予習: 配布資料を読んでおく(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
10.	演劇ワーク「母音ゼスチャー」5つの母音について理解する	予習: 配布資料を読んでおく(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
11.	日本語の音声構造を理解し、発声技能を高めることが出来る	予習: 配布資料を読んでおく(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
12.	いろいろな音声を出し、自分の発話の特徴をつかむことが出来る	予習: 自分の声の特徴を挙げる(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
13.	良い発声について考察し、コントロールを試みる事が出来る	予習: 配布資料を読んでおく(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
14.	演劇ワーク「一枚の絵」「演技連鎖」の身体感覚を知る	予習: 配布資料を読んでおく(30分) 復習: 授業内容を振り返る(30分)	
15.	身体感覚と記憶を知覚することが出来る	予習: 配布資料を読んでおく(30分) 復習: 今までの学びを振り返る(30分)	
教科書	必要に応じて資料を配布する		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度50%、到達度確認テスト50%		
特記すべき 事項	劇作家・演出家として30年の実務経験を有している		
質問・相談等 の受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可		

科 目	舞台表現法	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	実技 1単位
授業概要	演技理論、演技ワークショップを交えながら戯曲と日本語を有効的に学ぶ。 また、実践として、小規模の上演発表を行い、作品と演技の理解を深める。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(5)に対応する。		
到達目標	人間の内にある思考や感情を省察し、適切に表現することができる。		
学習成果の 評価基準	演技表現に関する積極的な取り組み、発表を「授業態度」の評価とする。 作品研究、人物考察の達成度を測るための「到達度確認テスト」で評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	イントロダクション / 学びのねらいと進め方について 稽古場の三原則をあらためて確認する	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
2 .	演劇ワーク「一問一答」物になって語ることが出来る	予習：エチュードについて知る(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
3 .	演劇ワーク「彫刻家」身体認識を深める	予習：ウォーミングアップをする(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
4 .	キャラクターの考察ができる、エンパシーの理解が出来る	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
5 .	ひとり台詞(科白)「ブンナよ、木からおりてこい」イメージが出来る	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
6 .	イメージと演技の型、類似体験と類似人物の引用を理解出来る	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
7 .	演劇ワーク「新聞記者」取材による人間観察が出来る	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
8 .	演劇ワーク「空間構成」舞台の動き方に慣れる	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
9 .	演劇ワーク「王様と家臣」ステイタスに基づく人物的特徴を把握出来る	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
10 .	集団創作「ある部活動」エチュードの考察が出来る	予習：エチュードの定義を思い出す(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
11 .	集団性を持つ芸術性の特徴を理解できる	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
12 .	対話の種類「3つの輪」を理解出来るその1	予習：自分の声の特徴を挙げる(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
13 .	対話の種類「3つの輪」を理解出来るその2	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
14 .	プロデュースと計画を自ら実行出来る	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業内容を振り返る(30分)	
15 .	知識と学習のまとめ / 到達度確認テスト	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：今までの学びを振り返る(30分)	
教科書	必要に応じて資料を配布する		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度50%、到達度確認テスト50%		
特記すべき 事項	劇作家・演出家として30年の実務経験を有している		
質問・相談等 の受付	九州大谷Online (Classroom) で随時受け付け可		

科 目	舞台演習基礎	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	演劇作品を通して舞台表現をゼロから創作していく。脚本、演出、照明、音響、衣裳、小道具、出演者、すべての創作活動はクリエイターたちとのコミュニケーションから放たれ、観客に伝達されていく。舞台が出来るまでを基礎から学べる総合的な学びです。本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(7)に対応する。		
到達目標	表現者としての知識・技能の習得を通し、自らの課題を発見することができる		
学習成果の評価基準	公演目標達成度で評価します。 (1)公演に向けて明確な目標を立てる。(2)仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 (3)自由な発想で表現することが出来る。(4)演出家の意図を汲み表現することが出来る。 100点満点中60点以上を評価基準とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	本読み1	台本を読んでおく(予習30分・復習30分)	
2 .	本読み2	台本を分析する(予習30分・復習30分)	
3 .	本読み3	役の背景を考える(予習30分・復習30分)	
4 .	本読み4	時代背景を考える(予習30分・復習30分)	
5 .	テーブルトーク	公演の目標を考える(予習30分・復習30分)	
6 .	テーブルトーク	今の自分に足りないことを考える(予習30分・復習30分)	
7 .	テーブルトーク	なりたい自分を想像する(予習30分・復習30分)	
8 .	テーブルトーク	自分自身の到達目標を定める(予習30分・復習30分)	
9 .	立ち稽古1	台詞と感情を覚える(予習30分・復習30分)	
10 .	立ち稽古2	台詞と感情を覚える(予習30分・復習30分)	
11 .	立ち稽古3	台詞と感情を覚える(予習30分・復習30分)	
12 .	立ち稽古4	台詞と感情を覚える(予習30分・復習30分)	
13 .	立ち稽古5	立ち位置と相手との関係を知る(予習30分・復習30分)	
14 .	立ち稽古6	立ち位置と相手との関係を知る(予習30分・復習30分)	
15 .	立ち稽古7	立ち位置と相手との関係を知る(予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度(50%)公演目標達成度(50%)		
特記すべき事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演し、演出する。		
質問・相談等の受付	随時可。		

科目	舞台演習基礎	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	河本章宏	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	演劇作品を通して舞台表現をゼロから創作していく。脚本、演出、照明、音響、衣裳、小道具、出演者、すべての創作活動はクリエイターたちとのコミュニケーションから放たれ、観客に伝達されていく。舞台が出来るまでを基礎から学べる総合的な学びです。本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(7)に対応する。		
到達目標	表現者としての知識・技能の習得を通し、自らの課題を発見することができる		
学習成果の評価基準	公演目標達成度で評価します。 (1)公演に向けて明確な目標を立てる。(2)仲間とコミュニケーションを取ることが出来る。 (3)自由な発想で表現することが出来る。(4)演出家の意図を汲み表現することが出来る。 100点満点中60点以上を評価基準とする。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
16.	立ち稽古8	行動の意味を考える(予習30分・復習30分)	
17.	立ち稽古9	行動の意味を考える(予習30分・復習30分)	
18.	立ち稽古10	行動の意味を考える(予習30分・復習30分)	
19.	立ち稽古11	行動の意味を考える(予習30分・復習30分)	
20.	立ち稽古12	行動の意味を考える(予習30分・復習30分)	
21.	抜き稽古1	演出意図を考える(予習30分・復習30分)	
22.	抜き稽古2	演出意図を考える(予習30分・復習30分)	
23.	抜き稽古3	演出意図を考える(予習30分・復習30分)	
24.	抜き稽古4	演出意図を考える(予習30分・復習30分)	
25.	抜き稽古5	演出意図を考える(予習30分・復習30分)	
26.	衣装合わせ1	イメージに合った衣裳を選ぶ(予習30分・復習30分)	
27.	衣装合わせ2	イメージに合った衣裳を選ぶ(予習30分・復習30分)	
28.	通し稽古1	ノートを確認・修正(予習30分・復習30分)	
29.	通し稽古2	ノートを確認・修正(予習30分・復習30分)	
30.	通し稽古3	ノートを確認・修正(予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度(50%)公演目標達成度(50%)		
特記すべき事項	1987年～2017年東京で俳優、演出家として数々の作品に出演し、演出する。		
質問・相談等の受付	随時可。		

科 目	筑後の魅力	開講時期 履修方法	1年前期 必修、専門科目
担当者	宇佐川桂吾	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	筑後市の課題解決に向けたアイデア出しを行います。事前に課題（温泉、鉱泉、空き家など）を提示してもらい、課題に取り組みます。 5人程度のグループに分かれフィールドワークを行い、課題解決に向けたアイデアをまとめ資料を作成、プレゼンテーションを行います。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(8)に対応する。		
到達目標	課題解決に向けた社会体験、経験により主体的に課題解決を考察する思考力を身につける。 多様な人々と協働して課題解決に取り組む汎用的な能力・態度・共感性を身につける。（多様性） チームで協力しながら課題解決に取り組む協働性を身につける。		
学習成果の評価基準	課題解決に向けたプレゼンテーションを通して、課題を考察する思考力を評価する。 多様な人々と課題解決に向けた取り組み姿勢から汎用的な能力・態度・共感性、協働性を評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	オリエンテーション・フィールドワークとは？ 自己分析	予習：筑後市概要調査（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
2 .	オリエンテーション・フィールドワークとは？ 課題読み込み、現地見学	予習：筑後市概要調査（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
3 .	筑後市で課題収集・グループ分け 【筑後市役所】 フィールドワークとは	予習：資料を読み込む（60分） 復習：課題への取り組み（60分）	
4 .	筑後市で課題収集・グループ分け 【筑後市役所】 課題プレゼン	予習：資料を読み込む（60分） 復習：課題への取り組み（60分）	
5 .	フィールドワーク 行動（リサーチ）計画作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
6 .	フィールドワーク	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
7 .	フィールドワーク	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
8 .	フィールドワーク	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
9 .	スライド資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
10 .	スライド資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
11 .	学内中間発表	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
12 .	グループワークとは	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
13 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
14 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
15 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	授業への取り組み姿勢（40%）プレゼンテーション（60%）		
特記すべき事項	本科目は、学外グループワークを主とする。現地までの交通手段、ネット環境等は各自準備すること。		
質問・相談等の受付			

科 目	筑後の魅力	開講時期 履修方法	1年前期 必修、専門科目
担当者	宇佐川桂吾	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	筑後市の課題解決に向けたアイデア出しを行います。事前に課題（温泉、鉱泉、空き家など）を提示してもらい、課題に取り組みます。 5人程度のグループに分かれフィールドワークを行い、課題解決に向けたアイデアをまとめ資料を作成、プレゼンテーションを行います。 本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(8)に対応する。		
到達目標	課題解決に向けた社会体験、経験により主体的に課題解決を考察する思考力を身につける。 多様な人々と協働して課題解決に取り組む汎用的な能力・態度・共感性を身につける。（多様性） チームで協力しながら課題解決に取り組む協働性を身につける。		
学習成果の評価基準	課題解決に向けたプレゼンテーションを通して、課題を考察する思考力を評価する。 多様な人々と課題解決に向けた取り組み姿勢から汎用的な能力・態度・共感性、協働性を評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
16 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
17 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
18 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
19 .	学外中間発表・フィードバック 【筑後市役所】	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
20 .	学外中間発表・フィードバック 【筑後市役所】	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
21 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
22 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
23 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
24 .	フィールドワーク、資料作成	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
25 .	フィールドワーク、資料作成	予習：発表準備（30分） 復習：資料の読み返し（30分）	
26 .	フィールドワーク、資料作成	予習：発表準備（30分） 復習：資料の読み返し（30分）	
27 .	学外期末発表・評価 【筑後市役所】	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
28 .	学外期末発表・評価 【筑後市役所】	予習：事前調査（60分） 復習：資料作成（60分）	
29 .	全体まとめ、振り返り	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
30 .	全体まとめ、振り返り	予習：プレゼン準備（60分） 復習：資料を読み返す（60分）	
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	授業への取り組み姿勢（40%）プレゼンテーション（60%）		
特記すべき事項	本科目は、学外グループワークを主とする。現地までの交通手段、ネット環境等は各自準備すること。		
質問・相談等の受付			

科目	表現の世界	開講時期 履修方法	1年前期 必修、専門科目
担当者	日下部 信・宇佐川桂吾・坂川和彦・井上嘉人・梅野智美・河本章宏	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	表現学科専任教員による連続授業。 各専門分野より、表現に関する概念や方法論を学び、考察を深める。 また、実践的アプローチをおこない、自らの表現力をより研鑽する。 本授業は、表現学科の学習成果(5)に対応する。		
到達目標	各分野の表現形態に触れ、各授業の魅力を自分の言葉や身体で表現できる。 また、自分が欲する表現意欲について取り組むことができる。		
学習成果の評価基準	表現に関する積極的な取り組み、発表を授業態度の評価とする。 また、授業内の表現課題をデザインし、発表することで思考力と表現力を評価する。		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	自分を表現する絵本セラピー【梅野】	予習：資料を読んでおく(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
2.	自分を表現する絵本セラピー【梅野】	予習：資料を読んでおく(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
3.	自己紹介・シアターゲーム(遊びながら心と身体の緊張を解く)【河本】	予習：ウォーミングアップをおこなう(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
4.	自分の声と身体を知り、自身の魅力を表現する【河本】	予習：ウォーミングアップをおこなう(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
5.	自分自身のスピーチ原稿を作る。内容と表現方法を考察する【河本】	予習：原稿内容を考える(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
6.	スピーチ発表をおこない、表現力を養う【河本】	予習：内容を確認する(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
7.	劇場表現・大谷講堂案内作成(施設説明～担当分け～資料作成)【井上】	予習：講堂を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
8.	劇場表現・大谷講堂案内作成(資料作成～成果発表)【井上】	予習：講堂を調べる(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
9.	アナログ表現とデジタル表現の違い【坂川】	予習：資料を読んでおく(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
10.	表現と著作権【坂川】	予習：資料を読んでおく(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
11.	AIの進化とその使い方の注意点、ポイントを整理しアイデアをより深める【宇佐川】	予習：資料を読んでおく(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
12.	AIの活用法 テキスト表現、画像表現、動画表現を使ってアイデアを形にする【宇佐川】	予習：資料を読んでおく(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
13.	短編シナリオをつくって表現する～場所、時期、人物、人物関係を考える～【日下部】	予習：構想を練る(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
14.	登場人物のコミュニケーションの役割と意味を掴む【日下部】	予習：作品を準備する(30分) 復習：授業を振り返る(30分)	
15.	まとめ		
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	授業内課題50%、レポート50%		
特記すべき事項	複数の教員によるリレー形式の科目のため、順不同。変更日程は決定後に連絡する。		
質問・相談の受付			

科目	文章表現学	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	日下部 信	授業形態 単位数	演習 2単位
授業概要	<p>基礎的文章力を身につけることに加え、文章表現の自由度について考察する。 また思考力、判断力をもとに、多様な文書執筆を経て、社会にコミットする表現性を醸成する。 本授業は、表現学科の学習成果(2)に対応する。</p>		
到達目標	<p>序論・本論・結論の構造を持った文章を書くことが出来る。 また、主体的に語彙を用い、自分ならではの文章を組み立てることが出来る。</p>		
学習成果の評価基準	<p>単元に応じた課題についてレポートを提出する。</p>		
	授業計画(授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	イントロダクション 文章ワーク「今日のひと言」「モーニングページ」	予習：大学の授業について(30分) 復習：授業振り返り(30分)	
2.	接続詞が世界を紡ぐ 順接・逆接の組み合わせを考える	予習：ノートの取り方について(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
3.	三段法の習得 日本語の罫を知る	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
4.	名文に倣う 音読による効能を習得する	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
5.	五感を利用し、表現する	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
6.	要約のレッスン 割愛の精神を持つ	予習：要約文を作ってみる(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
7.	推敲における修正の考察	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
8.	的を立て、思考のアプトブット力を磨く ～思い、共感、希望、警鐘～	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
9.	形式1：エッセーを書く	復習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り	
10.	形式2：メール文書を書く	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
11.	形式3：会議に強い書類作成をおこなう	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
12.	形式4：レポートの書き方を学ぶ	予習：文章を書いておく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
13.	原稿枚数によって組み立てを変える	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
14.	形式5：短歌への招待	予習：文章を書いておく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
15.	文章づくりに関するまとめ	予習：配布資料を読んでおく(30分) 復習：授業の振り返り(30分)	
教科書			
参考書			
学習成果の評価方法	授業内課題：60% レポート：40%		
特記すべき事項	劇作家・ライターとして20年以上の実務経験を有している。		
質問・相談等の受付	Classroom利用。		

科目	読書と豊かな人間性	開講時期 履修方法	1年前期 選択、専門科目
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	豊かな人間性を育てる読書生活のために、発達段階に応じた読書教育の理念と方法の理解を図る。また、「言葉」による表現で読書に親しむための実技を学ぶ。 本授業は、表現学科の学習成果(3)に対応する。		
到達目標	発達段階に応じた読書の違いに振れ多様化する読書資料の活用ができるようになる。また、絵本の選定や読み聞かせの手法を学び、コミュニケーションを取りながら人前で読み聞かせ等ができるようになる。		
学習成果の評価基準	到達目標にしている、発達段階に応じた読書資料の活用の達成度及び絵本の読み聞かせの実技、到達度確認テスト（期末レポート）を実施し評価する。		
	授業計画（授業内容）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	読書の意義と目的について	予習：なぜ読書をしなければならないのか（120分） 復習：授業を振り返る（120分）	
2.	読書能力の発達について	予習：さまざまなリテラシーについて考える（120分） 復習：授業を振り返る（120分）	
3.	読書興味の発達について	予習：発達段階よっての読書を考える（120分） 復習：授業を振り返る（120分）	
4.	読書興味の発達段階について	予習：就学時までの読書について考える（120分） 復習：授業を振り返る（120分）	
5.	読書興味の発達段階について	予習：小学低学年の読書を考える（120分） 復習：授業を振り返る（120分）	
6.	読書興味の発達段階について	予習：小学校高学年の読書を考える（120分） 復習：授業を振り返る（120分）	
7.	読書興味の発達段階について	予習：中高年生以上の読書を考える（120分） 復習：授業を振り返る（120分）	
8.	読書の導入的な指導	予習：環境整備について考える（120分） 復習：授業を振り返る（120分）	
9.	読書体験表現・交流について	予習：自分の読書体験について考える（120分） 復習：授業を振り返る（120分）	
10.	公共図書館と学校図書館の連携	予習：公共図書館と学校図書館の連携を考える（120分） 復習：授業を振り返る（120分）	
11.	絵本の選定、絵本の絵を読み解くなど、内容について深く学ぶことができる（理論）（1）	予習：いろいろなジャンルの絵本を読む（120分） 復習：授業を振り返る（120分）	
12.	絵本の選定、絵本の絵を読み解くなど、内容について深く学ぶことができる（理論）（2）	予習：いろいろなジャンルの絵本を読む（120分） 復習：授業を振り返る（120分）	
13.	絵本の読み聞かせを実演し、読み手と聞き手の関係性を学ぶ（実技）	予習：読み聞かせの練習（120分） 復習：授業を振り返る（120分）	
14.	絵本の読み聞かせを実演し、絵本のめくり方、間の取り方、終わり方などを学ぶ（実技）	予習：読み聞かせの練習（120分） 復習：授業を振り返る（120分）	
15.	授業総括	予習：今までの授業内容を振り返る（120分） 復習：今までの授業を振り返る（120分）	
教科書	『新版読書と豊かな人間性』朝比奈大作ほか / 放送大学教育振興会		
参考書	なし		
学習成果の評価方法	受講態度（10%）定期試験（60%）授業内発表（30%） 到達度確認テストを実施後、フィールドバックします。		
特記すべき事項	担当者は司書として17年の実務経験を有しています。絵本セラピストとしての実務経験を有しています。		
質問・相談等の受付	質問、相談については、授業後に授業場所あるいは研究室にて対応する。		

科目	A I ・ データサイエンス入門	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	小田まり子	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	AI (Artificial Intelligence : 人工知能) やDS (Data Science : データサイエンス) の基礎について学び、データやAIを適切に活用する初級レベルの能力を修得する。また、座学の講義を受けるだけでなく、Python (パイソン) のプログラミング演習 (データの可視化、データ解析、AIの機械学習など) を通して、データサイエンスやAIに関する理解を深めることを目指す。本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果 (1) に対応する。		
到達目標	(1) データ駆動社会においてAI・数理・データサイエンスを学ぶ意義を理解する。 (2) データを収集・処理・蓄積する技術の概要を理解する。 (3) AI・DSは幅広い分野での社会課題を解決する有用なツールであることを理解する。 (4) PythonによるAI・DSプログラミングの基礎スキルを習得する。		
学習成果の評価基準	期末試験、演習課題レポートの提出により評価する。		
	授業計画 (授業内容)	授業時間外学習 予習・復習	
1 .	座学講義 ・第1章 データサイエンスとは ・第3章 情報をめぐる世の中の潮流	予習：テキストの1・3章を読む(30分) 復習：講義ノートを読み返す(50分)	
2 .	AI・DSプログラミング演習 : データ・変数・演算	予習：ファイルをDL、説明文章を読んでおく(30分) 復習：課題プログラムを作る(50分)	
3 .	座学講義 ・第4章 広がるデータ活用の幅 ・第6章 情報倫理とセキュリティ	予習：テキストの4・6章を読む(50分) 復習：講義ノートを読み返す(50分)	
4 .	AI・DSプログラミング演習 : リスト・配列・関数	予習：ファイルをDL、前回今回の演習説明文を読んでおく 復習：課題PGMを作る(各50分)	
5 .	座学講義 ・第7章 データの種類とその応用 ・第8章 データリテラシー	予習：テキストの7・8章を読む(50分) 復習：講義ノートを読み返す(30分)	
6 .	AI・DSプログラミング演習 : 制御構造・アルゴリズム基礎 ・順次構造・選択構造・反復構造・合計・最大値を求める	予習：ファイルをDL、前回今回の演習説明文を読んでおく 復習：課題PGMを作る(各50分)	
7 .	座学講義 ・第9章 データの収集と視覚化 ・第10章 データの解析方法	予習：テキスト9・10章を読む(50分) 復習：講義ノートを読み返す(30分)	
8 .	AI・DSプログラミング演習 : データの可視化 データの可視化目的 (比較、構成、分布、変化) に応じた図表化 (折れ線、棒、散布図、円)	予習：ファイルをDL、前回今回の演習説明文を読んでおく 復習：課題PGMを作る(各50分)	
9 .	座学講義 ・第2章 AIにサポートされる社会 ・第5章 AI開発の歴史いま	予習：テキストの2・5章を読む(50分) 復習：講義ノートを読み返す(30分)	
10 .	AI・DS : データの可視化 要約統計量を出力：平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差 フィルタリング処理・ヒストグラム・散布図・箱ひげ図	予習：ファイルをDL、前回今回の演習説明文を読んでおく 復習：課題PGMを作る(各50分)	
11 .	座学講義 ・第11章 情報の利活用と方法 ・第12章 AIによる生活のアップデート	予習：テキスト11・12章を読む(50分) 復習：講義ノートを読み返す(30分)	
12 .	AI・DSプログラミング演習 : 教師あり学習 機械学習による犬と猫の画像分類	予習：ファイルをDL、前回今回の演習説明文を読んでおく 復習：課題PGMを作る(各50分)	
13 .	座学講義 ・第13章 AIによる社会のアップデート ・第14章 秩序あるデータの重要性	予習：テキスト13・14章を読む(50分) 復習：講義ノートを読み返す(30分)	
14 .	AI・DSプログラミング演習 : 教師なし学習 K-means法によるクラスタリング	予習：ファイルをDL、前回今回の演習説明文を読んでおく 復習：課題PGMを作る(各50分)	
15 .	座学講義 ・第15章 これからの学びにむけて(まとめ)	予習：テキスト15章を読む(50分) 復習：総復習(60分)	
教科書	大学基礎「データサイエンス」・プログラミング演習の回は資料を配布する		
参考書	授業中に紹介する。		
学習成果の評価方法	期末試験 (40%) 、課題レポートと演習課題プログラムの提出 (60%) を目安として評価する。		
特記すべき事項	座学形式の授業とプログラミングの演習を交互に実施する。		
質問・相談等の受付	質問は電子メールで送ってください。 mari@kurume-it.ac.jp		

科 目	IT経営論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	PCワークス・坂川和彦	授業形態 単位数	講義 4単位
授業概要	ITパスポート試験の対策を通して、情報処理に関する知識を学ぶ。主に以下の3つの内容を学ぶ。 (1) 企業活動や経営戦略に関する知識 (2) 情報システムの開発や運用に関する知識 (3) コンピュータシステムやネットワーク、情報セキュリティ等に関する知識 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	情報社会で働くすべての社会人に必要な情報技術に関する基本的知識を習得する。 ITパスポート試験に合格する。		
学習成果の 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・専門用語の暗記ではなく、具体的な企業活動の中で、情報システムがどのような役割を果たしているかを理解している。 ・自分のキャリアや将来像を考えながら、情報処理に関する知識を意欲的に学ぼうとする。 ITパスポート試験の可否は成績評価には反映しません。 		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1 .	オリエンテーション (ITパスポート試験の概要)	予習:教科書を読む(2時間) 復習:本時を振り返る(2時間)	
2 .	企業活動の基本	予習:教科書を読む(2時間) 復習:本時を振り返る(2時間)	
3 .	企業活動の基本	予習:教科書を読む(2時間) 復習:本時を振り返る(2時間)	
4 .	企業活動のルール・法律	予習:教科書を読む(2時間) 復習:本時を振り返る(2時間)	
5 .	企業活動のルール・法律	予習:教科書を読む(2時間) 復習:本時を振り返る(2時間)	
6 .	企業活動についてのまとめ・小テスト	予習:小テスト対策(2時間) 復習:本時を振り返る(2時間)	
7 .	経営戦略	予習:教科書を読む(2時間) 復習:本時を振り返る(2時間)	
8 .	経営戦略	予習:教科書を読む(2時間) 復習:本時を振り返る(2時間)	
9 .	企業や社会で使われているシステム	予習:教科書を読む(2時間) 復習:本時を振り返る(2時間)	
10 .	企業や社会で使われているシステム	予習:教科書を読む(2時間) 復習:本時を振り返る(2時間)	
11 .	経営戦略に関するまとめ・小テスト	予習:小テスト対策(2時間) 復習:本時を振り返る(2時間)	
12 .	システム開発のプロセス	予習:教科書を読む(2時間) 復習:本時を振り返る(2時間)	
13 .	プロジェクトマネジメント	予習:教科書を読む(2時間) 復習:本時を振り返る(2時間)	
14 .	サービスマネジメント	予習:教科書を読む(2時間) 復習:本時を振り返る(2時間)	
15 .	システム監査	予習:教科書を読む(2時間) 復習:本時を振り返る(2時間)	
教科書	よくわかるマスター 令和6-7年度版 ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集 FOM出版		
参考書	特になし 適宜、資料を配布する		
学習成果の 評価方法	受講態度(20%)、小テスト(50%)、模擬試験(30%)		
特記すべき 事項	ITパスポート試験の詳細については授業中に案内を行う(受験申込は各自で行うこと)		
質問・相談等 の受付	授業期間中は、授業時間の前後でもいつでも受け付ける		

科 目	I T経営論	開講時期 履修方法	1年後期 選択、専門科目
担当者	PCワ-クス・坂川和彦	授業形態 単位数	講義 4単位
授業概要	ITパスポート試験の対策を通して、情報処理に関する知識を学ぶ。主に以下の3つの内容を学ぶ。 (1) 企業活動や経営戦略に関する知識 (2) 情報システムの開発や運用に関する知識 (3) コンピュータシステムやネットワーク、情報セキュリティ等に関する知識 本授業は表現学科情報デザインコースの学習成果(1)に対応する。		
到達目標	情報社会で働くすべての社会人に必要な情報技術に関する基本的知識を習得する。 ITパスポート試験に合格する。		
学習成果の 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門用語の暗記ではなく、具体的な企業活動の中で、情報システムがどのような役割を果たしているかを理解している。 ・ 自分のキャリアや将来像を考えながら、情報処理に関する知識を意欲的に学ぼうとする。 ITパスポート試験の合格は成績評価には反映しません。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
16 .	システム開発に関するまとめ・小テスト	予習：小テスト対策(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
17 .	基礎理論	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
18 .	基礎理論	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
19 .	プログラミングとアルゴリズム	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
20 .	コンピュータシステムの構成	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
21 .	コンピュータシステムの構成	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
22 .	基礎理論とシステムについてのまとめ・小テスト	予習：小テスト対策(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
23 .	表計算ソフトの技術	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
24 .	データベース	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
25 .	コンピュータネットワーク	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
26 .	コンピュータネットワーク	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
27 .	情報セキュリティ	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
28 .	情報セキュリティ	予習：教科書を読む(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
29 .	ネットワーク・セキュリティについてのまとめ・小テスト	予習：小テスト対策(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
30 .	ITパスポート模擬試験と解説	予習：模擬試験対策(2時間) 復習：本時を振り返る(2時間)	
教科書	よくわかるマスター 令和6-7年度版 ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集 FOM出版		
参考書	特になし 適宜、資料を配布する		
学習成果の 評価方法	受講態度(20%)、小テスト(50%)、模擬試験(30%)		
特記すべき 事項	ITパスポート試験の詳細については授業中に案内を行う(受験申込は各自で行うこと)		
質問・相談等 の受付	授業期間中は、授業時間の前後でもいつでも受け付ける		

科 目	基礎演習	開講時期 履修方法	1年後期 必修、専門科目
担当者	河本章宏・日下部信	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	1年次のアンドワン発表公演。前期から学んできた様々な表現形態や技術の集大成として、舞台発表を公開でおこないます。台本分析から始まり、キャスティング、読み合わせ、立ち稽古、通し稽古、リハーサル、本番、公演ふりかえりまでの過程を学びます。本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(8)に対応する。		
到達目標	公演目標達成度 ・ひとりひとりが公演に向けて明確な目標を立てる。 ・他者と協働し、場を動かして公演製作の役割を担える。 ・演出家の意図を汲み取り、劇場空間において表現することができる。		
学習成果の評価基準	公演目標達成度で評価する。授業態度に加え、各達成度を測るために、到達確認テストや活動報告レポートの提出をおこない、評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	読み合わせ	台本を読んでおく(予習30分・復習30分)	
2.	読み合わせ	台本を分析する(予習30分・復習30分)	
3.	読み合わせ	台詞を覚える(予習30分・復習30分)	
4.	読み合わせ	台詞を覚える(予習30分・復習30分)	
5.	立ち稽古	香盤表を確認する(予習30分・復習30分)	
6.	立ち稽古	ミザンスを確認する(予習30分・復習30分)	
7.	立ち稽古	ミザンスを確認する(予習30分・復習30分)	
8.	立ち稽古	ミザンスを確認する(予習30分・復習30分)	
9.	立ち稽古(5)	ミザンスを確認する(予習30分・復習30分)	
10.	立ち稽古(6)	ミザンスを確認する(予習30分・復習30分)	
11.	通し稽古	演出ノートを確認(予習30分・復習30分)	
12.	通し稽古	演出ノートを確認(予習30分・復習30分)	
13.	通し稽古	演出ノートを確認(予習30分・復習30分)	
14.	衣装合わせ	役の衣裳を考える(予習30分・復習30分)	
15.	衣装合わせ	着こなしを考える(予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度(50%) 公演目標達成度(50%)		
特記すべき事項	劇作家・演出家として28年の実務経験を有している。		
質問・相談等の受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可。		

科 目	基礎演習	開講時期 履修方法	1年後期集中 必修、専門科目
担当者	河本章宏・日下部信	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	1年次のアンドワン発表公演。前期から学んできた様々な表現形態や技術の集大成として、舞台発表を公開でおこないます。台本分析から始まり、キャスティング、読み合わせ、立ち稽古、通し稽古、リハーサル、本番、公演ふりかえりまでの過程を学びます。本授業は表現学科演劇表現コースの学習成果(8)に対応する。		
到達目標	公演目標達成度 ・ひとりひとりが公演に向けて明確な目標を立てる。 ・他者と協働し、場を動かして公演製作の役割を担える。 ・演出家の意図を汲み取り、劇場空間において表現することができる。		
学習成果の評価基準	公演目標達成度で評価する。授業態度に加え、各達成度を測るために、到達確認テストや活動報告レポートの提出をおこない、評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1 .	照明合わせ	立ち位置の確認(予習30分・復習30分)	
2 .	照明合わせ	照明に入る(予習30分・復習30分)	
3 .	照明合わせ	照明に入る(予習30分・復習30分)	
4 .	舞台稽古	役と役の交流を考える(第一段階)(予習30分・復習30分)	
5 .	舞台稽古	役と役の交流を考える(第二段階)(予習30分・復習30分)	
6 .	舞台稽古	役と役の交流を考える(第三段階)(予習30分・復習30分)	
7 .	舞台稽古	役と役の交流を考える(第四段階)(予習30分・復習30分)	
8 .	舞台稽古	役と役の交流を考える(第五段階)(予習30分・復習30分)	
9 .	舞台稽古	役と役の交流を考える(第六段階)(予習30分・復習30分)	
10 .	舞台稽古	役と役の交流を考える(第七段階)(予習30分・復習30分)	
11 .	上演	成果発表後ノートをつける(予習30分・復習30分)	
12 .	上演	ノートを元に修正する(予習30分・復習30分)	
13 .	上演	ノートを元に修正する(予習30分・復習30分)	
14 .	上演	ノートを元に修正する(予習30分・復習30分)	
15 .	まとめ	振り返り(予習30分・復習30分)	
教科書	上演台本		
参考書			
学習成果の評価方法	授業態度(50%)公演目標達成度(50%)		
特記すべき事項	劇作家・演出家として28年の実務経験を有している。		
質問・相談等の受付	九州大谷Online(Classroom)で随時受け付け可。		